

KYOTAMBA TOWN

京丹波

議会だより

第51号

[平成 29年2月17日]

発行 京都府京丹波町議会

12月定例会

2P 補正予算、条例の制定・改正など
ロケ地誘致に向けてロケーションオフィスを設置

5P 一般質問に10人
本町の財政状況についてなど

15P 閉会中の委員会報告

17P 臨時会
上升谷橋橋梁補修工事請負契約

17P 追跡調査
上豊田保育所下のスクールバス停留所の移転改修を

18P 人（ひと）
よし はる 藤田義晴さん（上大久保区）

元気いっぱい 福は内
（わちエンジェル）



京丹波町

議会ホームページアクセス件数
998,639件 (H29.2.1現在) 前号より1,538件増



ロケ地誘致に向けて「うるおい館」に ロケーションオフィスを設置

主な補正(一般会計)

経済対策臨時福祉給付金	6,522万円
有害鳥獣対策事業	3,768万円
中山間地域所得向上支援対策事業 (紫ずきん集出荷施設整備補助金)	4,909万円
ロケ地誘致事業	1,800万円
災害復旧事業 (河川9カ所、道路5カ所)	2,501万円

28年第4回定例会は、12月5日から21日まで開催されました。本定例会には、人事案件、条例の制定・改正、補正予算など29件が提出され、全議案を同意・可決・採択しました。一般質問には10人が立ち、37項目について執行部の所見をいただきました。なお、本定例会には、延べ13人の傍聴がありました。

主な質疑・討論

一般会計補正予算

28年度事業の確定、進捗状況などにより、予算総額から2217万円を減額し、117億6021万5000円とするもの。

〔全員賛成〕

問 簡素な給付措置給付金申請の進捗状況は。

課長 対象者4348人中、11月末現在で3256人の申請がある。

問 ロケ地誘致事業のロケーションオフィスをうるおい館に決めた理由と朝市への影響は。

課長 PR活動と交通の利便性を考慮した。

朝市とは共存することで活力が生み出せると

考えている。

問 どの地区も学童保育の施設が老朽化してきているが改修計画は。

次長 年々修繕しているが、建物自体が古いことや学校からの距離が遠い施設があることなども課題である。

賛成討論 梅原 好範 賛

事業の確定と進捗状況を精査し、喫緊の課題にも対応する重要な予算編成であり、不可欠な補正として賛成。

特別会計補正予算

病院会計ほか6会計の補正。〔全員賛成〕

主な条例の制定・改正

21議案が提案され、全議案を可決した。

水道事業の設置等に関する条例の制定

29年4月1日からの企業会計への移行に対

応するため、条例を制定するもの。

〔全員賛成〕

問 本事業に従事する職員の賠償責任の免除について、議会の同意を得なければならぬ額を100万円以上とした根拠は。

課長 会計規程上、職員が現金を扱える上限額に設定した。

賛成討論 山田 均 賛

議会の同意を要する額は、収賄事件や公金横領事件からも最小限度とし、現金は複数で扱うことを指摘し賛成。

特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正

人事院勧告による一般職の給与改定に準じ、期末手当の支給月数を改正するもの。

〔賛成8 反対7〕

問 人事院勧告は一般職の勤勉手当の引き上げであり、特別職の期末手当を上げる意味は。

〔課長〕 本町は従前から国に準じた対応をしている。

〔問〕 今の経済情勢のなか、報酬審議会を開催し、据え置く考えはないか。

〔町長〕 必要なときには報酬審議会に諮問するが、今回はルールに準じる。

〔反対討論〕 東 まさ子 議員

特別職報酬等審議会に諮り、結論を経て提案すべき。議員報酬もこういう水準にあるのか論議されていない。

〔賛成討論〕 山内 武夫 議員

一般職に準じて期末手当の率を改正するものである。本年度も給料、期末手当を10%削減されており賛成。

議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

人事院勧告による一般職の給与改定に準じ、期末手当の支給月数を改正するもの。

〔賛成8 反対7〕

〔問〕 本町の給与所得者の経済状況を把握する調査を行ったうえで、提案するべきでは。

〔課長〕 国や府の調査に準じて対応している。

税条例等の一部改正

地方税法などの一部改正などに伴い、所要の改正を行うもの。

〔賛成12 反対3〕

〔反対討論〕 坂本美智代 議員

処方箋なしに市販の薬を一定額以上購入すれば税制面で優遇されるが、自主財源の減と重症化を招くため反対。

京都地方税機構規約の変更

京都地方税機構が処理する事務に、新たに自動車取得税、自動車税及び軽自動車税に係る申告書の受付などの事務を追加するもの。

〔賛成12 反対3〕

〔問〕 新業務の職員体制と場所は。

〔課長〕 職員10人程度、臨時職員9人程度で、近畿運輸局の京都支局内に申告センターを設置する。

〔反対討論〕 東 まさ子 議員

税機構が申請の入力業務で課税データ作成まで行うことは、自治体の重要な柱である課税自主権の侵害になる。

国民健康保険南丹病院組合規約の一部変更

府内外の関係者に病院の内容をより理解されやすくすることにより、人材確保などを効果的に行うことを目的に、病院名称を「公立南丹病院」から「京都中部総合医療センター」に変更するもの。

〔全員賛成〕

〔問〕 南丹市議会で委員会付託され、否決になった経過は。

〔町長〕 特に説明がなく、承知していない。

工事契約変更

地域熱供給システム整備工事の契約変更

工事内容の変更に伴う請負代金額の増額により、契約金額に356万4000円を追加し、2億5052万7600円とするもの。

〔賛成12 反対3〕

〔問〕 変更に至った経過と内容は。

〔課長〕 造成工事中に確認された湧水をピットに侵入させないための防水処理、要望にもとづく施設内機器の規格変更、パネル支持部の強化を図るため16台の架台を追加したこと。

また、熱導管の敷設工事に伴い、園児・児童・生徒や通行車両の安全性を向上させるための誘導員の増員、施設内の管理の面から見張り員を増員したことが変更の要因である。

〔問〕 燃料が湿気により不完全燃焼を起こした場合、煙害などの問題は発生しないか。

〔課長〕 今回実施する防水処理など円滑な運用に向け、あらゆる環境の整備を図る。

〔反対討論〕 山田 均 議員

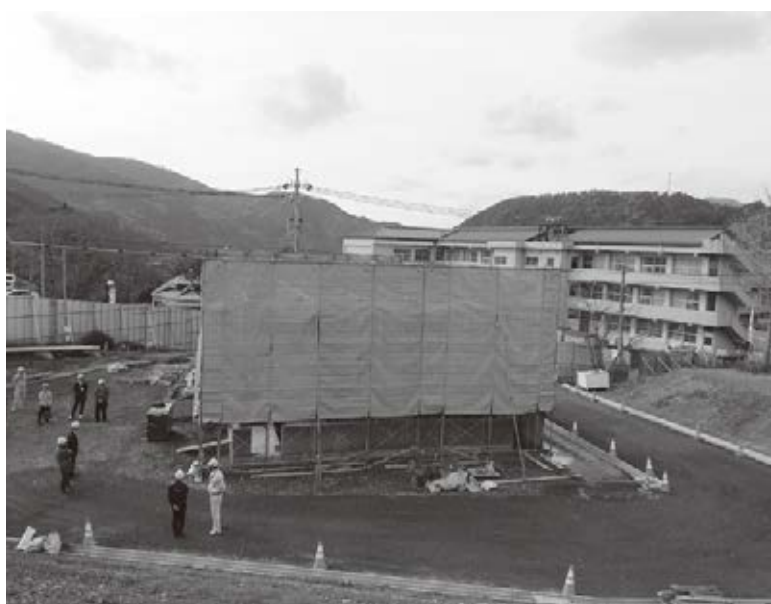
事業費が2億5千万円を超え、変更が必要となった時点で議会に報告すべき。また、採算などの資料提出を。

〔賛成討論〕 梅原 好範 議員

本町が初めて取り組む事業として、あらゆる方向性を慎重に模索したうえでの必要な変更内容に賛成する。

〔賛成討論〕 山内 武夫 議員

熱源建屋地下部の防水対策や交通誘導員の増員など、安全対策を講ずる観点から適切な判断であり賛成。



建設が進む熱源建屋(市場地内)



旧和知第二小学校

屋内多目的グラウンド

建築工事の契約変更

工事内容の変更に伴

う請負代金額の増額に

より、契約金額に10

81万8000円を追加

し、1億8513万5

760円とするもの。

〔賛成10 反対5〕

問 外構工事の追加に

ついて、別途発注を検

討しなかった理由は。

支所長 別途発注にし

た場合、経費の面でや

や不利になるため契約

変更とした。

問 契約相手方の共同

企業体の出資比率は。

課長 (株)共立工務店40

%、(株)高木設備30%、

(株)猪田テクノス30%と

なっている。

問 工事発注は、町内

業者を指名すべきでは

副町長 地域経済の振

興を考える一方、税を

投入する観点からコス

ト面を重視する必要も

あり、比較検討しなが

ら実施する。

反対討論 山田 均 議員

1千万円を超える増

額変更は、必要となっ

た時点で報告すべき。

また、外構工事などは

分割発注すべきである。

賛成討論 山下 靖夫 議員

湿気や強度の関係で

内壁補強の必要性が判

明。工事の進捗率50%

の今、将来のため追加

を認めるべきである。

賛成討論 北尾 潤 議員

地元住民の声をしっ

かり反映し、災害時の

避難施設としての機能

も期待されることを考

慮した変更であり賛成。

請 願

京都聴覚言語障害者

の豊かな暮らしを築く

ネットワーク口丹プロ

ツク委員会から提出さ

れた、「中途失聴者・難

聴者に対する公職選挙

のバリアフリー実現を

求める意見書の提出に

関する請願」。

〔全員賛成〕

意見書

中途失聴者・難聴者に

対する公職選挙のバリ

アフリーを求める意見

書

提出者 福祉厚生常任

委員会委員長

中途失聴者・難聴者

にとって、現在の公職

選挙法では、政見放送

での字幕の挿入や個人

演説会での要約筆記が

保障されているとは言

えない。

よって、次の事項が

実施できる公職選挙法

並びに関係法令を、速

やかに改正されるよう

国に強く要望する。

①政見放送における手

話通訳と同時に字幕

を挿入すること。

②個人演説会において

手話や要約筆記が利

用しやすい環境を整

えること。併せて、

手話通訳者や要約筆

記者の育成、確保を

図ること。

〔全員賛成〕

人 事 (敬称略)

教育委員会委員

上田 明成(妙楽寺) (任期4年)

新任

竹内 裕子(上乙見) (任期3年)

新任

固定資産評価審査

委員会委員

杉本 貢 (任期3年)

再任

公平委員会委員

山本 和之 (任期4年)

再任

人権擁護委員候補者

湊 令子 (任期3年)

再任

堀川 好 (小畑) (任期3年)

再任

審議結果

議員名

議案名など

坂本 美智代

東 まさ子

森田 幸子

篠塚 信太郎

山田 均

山内 武夫

山下 靖夫

原田 寿賀美

山崎 裕二

村山 良夫

岩田 恵一

北尾 潤



一般質問 **「ここが聞きたい」**



梅原 好範 議員

多くの地域要望を実現しながら 財政を好転させた要因は

町長 職員が健全化に向け強い意識を持ち慎重に取り組んだ結果である

問 決して潤沢ではない本町の財政状況のもとで、寺尾町長就任以降は地域要望にもとづいた多くの新規事業が実現した。

加えて本町の将来像を見据えながら、未来への投資というべき新しい視点での事業を立ち上げ継続されるなかで、財政状況はどのように推移しているのか。22年以降、数多くの新規事業を手がけながら土地開発公社の解決など、着々と健全化が図られてきた経過を問う。

町長 各種事業は特定財源を積極的に確保し、有利な地方債を活用している。

財政状況については、22年から平均すると年に約10億円ずつ借金を減らし、約20億円ずつ多くの仕事を実施してきた。

その要因には、職員が財政健全化の意識を

強く持ちながら、財源をしつかりと確保するまで軽々に着手しない、職員の慎重な姿勢が挙げられる。

問 新規事業として現在建設が進む「旧和知第二小学校跡地における屋根付き多目的施設」に求められる効果は。また、同整備事業の推進を願う地域の熱い想いを、町長としてどのように受け止めるのか。

町長 地域振興や活性化を担う施設として、住民の交流拠点となることに期待する。また有事においては、支援活動拠点としての重要な役割を担う。

地域を挙げて維持管理を行うとの申し出を受けている。同地域のイベントに参加し、行政が期待する以上の管理をいただきながら、みなさんが喜んで笑顔で利用いただいていることを実感した。

子どもたちの 教育環境整備

問 「認定こども園」を開設することにより、子どもたちに与える影響と求めるものは。

町長 すべての子どもが等しく豊かな就学前教育を受け、保護者は就労の有無にかかわらず、安心して子育てができるものと考えている。

問 教育環境の变革を

見守ってきた地域では、今後のあり方について心配しながら深い関心を寄せている。地域や保護者に不安を抱かせない取り組みは。

町長 地域創生の視点から、小規模校ならではのメリットを活かしながら、適切な教育効果を図るため地域との連携・協働の視点を持ち、見定めた。



建設現場で完成を待ち望む地域住民(篠原地内)



太陽光パネル設置に対する ガイドライン策定を



山崎 裕二 議員

町長 策定に向け検討を行っている

問 太陽光パネル設置に対するガイドラインの策定を。

町長 自然エネルギーの円滑な導入と安全・安心な地域社会の構築を図ることを目的として、策定に向け検討を行っている。

自転車通学生への 補助創設を

問 中学生などの自転車通学生の人数は。

教育長 蒲生野中が136人、瑞穂中が16人、和知中が4人の計156人である。

問 自転車通学生の登下校時の事故件数は。

教育長 26年、28年に各1件発生している。

問 他府県の自転車損害保険などの加入義務化条例に対する評価は。

教育長 義務化は自転車事故の加害者となる割合が増加傾向にあるためと認識している。

問 自転車損害保険などの加入への補助を。

教育長 現時点で予定はないが、他市町村の状況把握を進めていく。

ごみ関連対応の充実を

問 町ごみ収集カレンダーの検討状況は。

町長 29年度は、意見を反映させた改善を図っていく。

問 色弱者や高齢者の方に特に配慮したカラーユニバーサルデザインへの理解を。

町長 配慮したものになるように改善する。

問 指定ごみ袋に掲載する有料広告の募集を。

町長 船井郡衛生管理組合の担当者会議で提案するように指示する。

問 可燃ごみ収集場所増減の決定方法は。

町長 地元区からの要望にもとづき、組合と協議して決定している。

畦畔管理省力化への 補助制度を

問 ベントグラスのたねなどは非常に高価で

ある。補助制度創設を。
農業委員長 制度創設を要望している。

町長 実証結果にもとづいて、検討していく。

債権管理の適正化を

問 不納欠損と債権放棄の法的な因果関係は。

町長 会計措置である不納欠損には法的効果はないので、私債権の場合、不納欠損しても債権は消滅しない。

問 地方自治法にもとづく各債権の不納欠損の解釈とは。

町長 債権徴収事務の効率化のためには、みなし消滅規定のような債権放棄を可能とする条例の整備などが必要と認識している。

問 私債権の定型的な不納欠損などを定めた債権管理条例の導入を。
町長 設置に向けた研究を重ねたい。



畦畔グリーン試験圃場(小畑地内)



村山 良夫 議員

公職の身にある現役員は 離職後も責務は存続するのか

町長 公職を離職されたら次の方が責務を負うことになる

問 副町長は公職の立場で丹波地域開発(株)の役員の責務を負っておられるが、その見解を問う。

副町長 責務を果たせるまで遂行する考えで、職務に取り組んでいる。

問 土地売却が主な要因で、第24期決算では3億円強の繰越欠損がある。この解消策は、「利益を上げる」「減資をする」「さらなる税金の投入」が考えられるが、見解を伺う。

副町長 毎年利益を計上し、長期にわたって解消する。

町長 減資をする必要はない。減資をすることは、株主としての責任逃れになる。

安定した利益を計上するには

問 コストの削減、特に人件費の削減が最大の課題である。第24期決算では、役員報酬を含めた人件費が前年度

比1000万円弱増加しているが、このことについての見解は。

副町長 円滑な事業運営には責任ある常勤役員の設置が必要である。

同社の運営にとって、必要最小限の人件費と認識している。

問 常勤役員を置かなかった第23期決算では、営業利益4600万円を計上している。直近にこのような実績があるのだから見直すつもりはないか。

副町長 常勤役員は専務で、同社運営の中心人物として活躍している。

町長 従業員取締役としての給料の支給であり、同社の株主総会で役員報酬は出さないことが決議されている。役員報酬を出すことは否決される。

問 マーケスの売上増強には同社がかかわっているが、各地区の商店街では、独自で折り

込みチラシなどによる戦略を立て、年末商戦に取り組んでおられる。マーケティングもテナント会がすべきでないか。

副町長 買い物バス運行は、町の事業として委託を受けている。両者が手を結び、住民の期待に応えることが大事と考えている。

問 借地権が每期1億3000万円弱計上されているが、見直すつもりは。

副町長 地主さんと鋭意交渉を進める。

旧役員への責務の負担交渉

問 町民は6億700万円の負担をした。旧役員にも相応の責務を要求しないか。

副町長 議会の議決を得て実施したものであり、旧経営陣に相応の負担を求めることはない。

販売費及び一般			
自 平成27年度 至 平成28年度			
丹波地域開発 株式会社			
科 目			
役員報酬	員 料	報 賞	酬 与
給 料	料	手	当
賞 退	職 福	利 生	与 金
法 定	厚	費 費	費 費
福 益	警 備	費 費	費 費
共 益	共 益	共 益	共 益

役員報酬が記載された決算書



第3四半期経過後の 予算・事業の進捗状況は



原田 寿賀美 議員

町長 道路関係では18件中・完了6件、発注済み・準備中12件である

問 年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業の執行状況は。

町長 65歳以上の要件該当者3012人に申請書を送付し、うち支給決定は2554人で支給額は7662万円である。

問 鳥インフルエンザ発生跡地事業の状況は。

町長 採卵集荷棟建屋2棟の解体工事を実施。地方創生加速化交付金を活用し、撮影をサポートする施設を映画会社2社と協議しながら進めている。

問 ロケ地誘致事業の状況は。

町長 映画やドラマのロケ地誘致を引き続き進めるほか、特産品開発やロケ現場での雇用創出など、本町を元気にする取り組みを実施している。

問 和知力醸成にぎわいふるさと創生事業は。

町長 地域資源を活用した周遊観光ルートの

開発など、和知地区の持続的な活性化を支える新たな仕組みを構築する。

問 道路改良及び災害復旧事業の状況は。

町長 道路新設改良工事は18件で完了が6件、発注済み・準備中が12件で、年度内完成に向けて進めている。

また、災害復旧事業は全て完了した。

問 双生公園跡地の残土処理場は。

町長 町道工事で発生した残土の有効利用のため、仮置き場として利用している。

課長 3月末までに処分し、今後保管場所は適正に選定する。

グリーンハイツ区自治会施設財産に関する陳情書の対応は

問 長年の懸案であり、

議会も9月定例会で趣旨採択とした。その後の処理経過及び結果は。

町長 自治会と詳細な

協議を行い、移管に向けて調整していく。

医療・福祉関係は

問 合併後、町立医療施設の一体的運営に着手しているが、一般会計からの繰り入れ状況と来年度の見通しは。

町長 28年度から資本的収入は、基準内のみ繰り入れとしている。サービス低下を招かぬよう、来年度も引き続き努力していく。

買物支援事業の実績は

問 買物支援バスの運行実績は。

町長 「丹波マーケス」を拠点として10月28日から運行を開始し、この1カ月間で14日運行、延べ125人が利用された。高齢者サロンを中心に、19件の予約も受け付けている。



残土仮置き場となっている双生公園跡地(中地内)



森田 幸子 議員

B型肝炎予防ワクチンの 公費助成を

町長 3回目未接種の経過措置として検討する



健やかな成長を願っています

問 大人になってB型肝炎ウイルスによる肝硬変や肝がんで苦しんでいる方の多くは、子どものとき、それも3歳までに感染したためだとも言われている。

10月より4月生まれからの0歳児を対象に定期接種が開始された。1〜3歳の乳幼児に町独自の公費助成を。

町長 対象年齢を拡大しての公費助成は予定していない。定期接種

の対象者で3回目の接種ができなかった乳幼児に対する経過措置については、他の市町村の状況を見て検討する。

若者の政治参加対策を

問 7月の参院選で18〜19歳の投票率が全体の投票率より低かった。どのように捉えているか。今後の投票率向上対策は。

選管委員長 進学などによって都市部に行く

ことも一因ではと考える。期日前・不在者投票の一層の周知が必要であり、機会を通じて啓発活動を進める。

問 丹波マーケース内での期日前投票所についての審議結果は。

選管委員長 設置する考えは持っていない。

問 亀岡市で開催された高校生議会では23人が質問し、まちづくりや議会の関心が高まった。本町の活性化や選挙に対する理解を深めるために、高校生議会の開催を。

町長 町政や議会への関心を深め、高校生の意見を聞く良い機会と思うが今は考えはない。

精密検査のさらなる 受診勧奨を

問 ピロリ菌検査の前
に胃力メラ検査の必要性を映像や文書などで理解を得る考えは。また、ケーブルテレビを活用しては。

町長 健診案内チラシでお知らせし、結果説明会時にも個別に説明している。ピロリ菌検査のみならず、健診全体の受診率向上に向けて啓発広報に努める。

骨量測定の実施を

問 個人の骨密度を知り予防につなげることが大事である。血液検査で骨量測定については、勉強することではあったが調査結果は。

町長 診療場面において治療に用いられる検査である。現在は実施する考えはない。

問 今後、骨量測定の実施をする前向きな考えはないか。

課長 子どもの時代から食育指導など重点を置き、強化に努める。



「ふるさと学習」は 今や重要な教育課題では



鈴木 利明 議員

教育長 「ふるさと学習推進モデル校」をめざす

問 「最近、蒲生野中学校が明るくなった」などと聞く。現状をふまえ、教育長の所見は。

教育長 この変化は、生徒会を中心に自らが取り組み、教職員の適切な指導を受けた学校づくりが進んだ結果と評価している。

問 町内小学校・中学校の不登校の現状は。

教育長 年間30日以上欠席した児童は1人、生徒は5人である。あらゆる対応を行い、不登校解消に向けた取り組みを進めている。

問 町の合併や学校の統合などで、子どもたちのふるさと意識が希薄になっていないか危惧する。「ふるさと学習」は今や重要な教育課題では。

教育長 地域とともに学ぶふるさと学習をさらに推進するため、次年度において「ふるさと学習推進モデル校」の指定を検討したい。

森林資源量解析システムの導入

問 本システムの導入目的は。

町長 森の資源活用の取り組みを効果的に推進するため導入した。

問 どのような効果が期待できるのか。

町長 森林資源の把握、森林整備、森林路網計画のシミュレーションなどのほか、水源林など公益的機能の高い森林の管理技術の向上や、持続可能な産業の育成を図っていく。

新庁舎建設計画の進捗状況は

問 新庁舎建設基本計画審議会における審議の進捗状況は。

町長 審議会は5回開催され、まちづくりの拠点となる庁舎、利用しやすい庁舎をめざし、活発な議論をいただいた。12月12日に答申をいただく予定である。

町営バス運行事業

問 町営バス事業は、運行開始から10年余りが経過した。現在バス16台、13路線を有し、年間事業費は約1億円の大事業である。本事業は他の市町の実態や業務の専門性から、運輸事業者に委託することも選択肢と考えるが。

町長 将来の公共交通のあり方について、提案も含め調査していく。

国道9号観音峠のバイパス化を

問 国道9号は町民の重要な生活道路であり、観音峠のバイパス化は絶対的に必要である。1日に6577台もの交通量があり、バイパス化による経済効果は大きいと考えるが。

町長 他の事業の進捗を確認しながら、南丹市との調整もふまえ検討していきたい。



バイパス化が待たれる国道9号(観音峠付近)



坂本 美智代 議員

高齢者の事故防止へのアンケート調査実施を

町長 アンケート調査を実施する考えはない

問 周辺地域の住民にとって、交通アクセスも限られることから自家用車やバイクは生活を営むうえで必要不可欠な乗り物である。

近年、高齢者による事故が多発するなか、本町独自に高齢者で運転免許取得者の方全員を対象にアンケート調査を実施し、対策を講じるべきと考えるが。

町長 アンケート調査を実施する考えはない。

問 本町での高齢者の免許取得者数と返納者数は。

町長 65歳以上の免許取得者数は9月末現在で3680人。返納者数は27年で27人、28年11月現在で25人である。

問 全国的に免許返納者に対する特典をつけるなど、対策を講じているかどうか。

課長 現在検討している。

通学路の歩道拡幅工事の見通しは

問 通学路でもある橋爪大野地内、国道9号の歩道拡幅工事の進捗状況と見通しは。

町長 現在、用地測量が発注され、来年度に用地買収にかかる。

問 橋爪地内みずほ団地の国道9号と、町道中台線との交差点での安全対策の実施時期は。

町長 府警本部と協議中である。

問 府道下山栄農橋交差点付近の転落防止柵の交換がされていない。改善の見通しは。

町長 府に要望している。

個人情報流出の危惧は

問 個人番号カードの交付が始まった。税と社会保障、災害に限定していたが、さらに対象を広げる計画が検討されている。個人情報報流出が危惧されるが。

町長 取り扱う職員に研修を行い、個人情報の流出防止に努めている。

生活習慣の重要性を

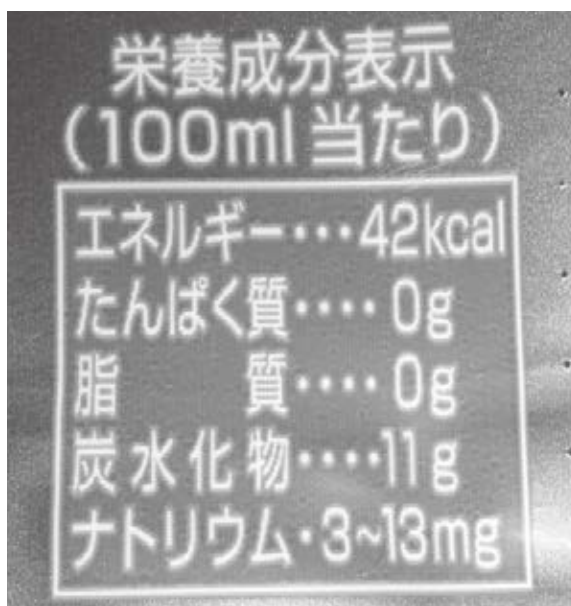
問 食事・運動・睡眠など、幼年期や思春期の生活習慣が青年期・壮年期への健康づくりに大きく関わってくることから、学校教育との連携が重要である。今後の取り組みは。

教育長 各校・園において、適切な生活習慣

の確立に向け、家庭と連携した取り組みを進めている。保護者との面談などを通じ、適切な指導助言を進めていくことが大事である。

問 生活習慣病の低年齢化に伴い、子ども自身が健康について考える行動ができるよう、学校行事の中で取り組むことも重要ではないか。

教育長 現在の取り組みを、さらに進めていきたい。



成分表にも関心を



口丹地域における府立高校の 「あり方懇話会」の内容は



東 まさ子 議員

教育長 高校ごとに関係機関を交え「あり方」が検討される



町内唯一の須知高等学校

問 昨年8月から府の教育委員会は、「生徒減少期における府立高校のあり方検討会議」を開催している。本年3月には、口丹地域の「あり方懇話会」が実施された。教育長は須知高校が人づくり、まちづくりに必要不可欠な高校であり存続、充実を求めるとの意見を表明されている。3月以降の状況説明を。

教育長 特に、生徒数

の減少が見込まれる学校について、高校ごとに関係機関を交え、あり方を検討することになっている。須知高校に関する検討は日程の調整中と聞いている。

問 府の方針は。

教育長 1学年に3クラスが望ましいという意見、人口推計とのかかわりから、さまざまな形態を考える必要があるという意見がある。先に検討が進んで

いる丹後地域では課題が多いように見受けられ、住民合意での取り組みが必要と考えるが。

教育長 今後、各高校のあり方について実質的な検討がされる段階では、広く意見を求めていく。また、一定の考え方が整理された段階では、適切な説明がされるよう求めていく。

施設の早期整備を

問 上豊田保育所、須知幼稚園は、老朽化が著しく早期の整備が求められる。「認定こども園」の開設に向け、「開設準備委員会」で調査研究されていると聞く。

子ども子育て支援事業計画は、整備時期を31年度としていたが。

教育長 開設時期は、建設も含め専門的な見地から検討が必要であり少し遅れる。方向性がまとまった段階で、パブリックコメントなどを考えている。

いる丹後地域では課題が多いように見受けられ、住民合意での取り組みが必要と考えるが。

次長 教育と保育を一体化することから、検討すべき事項が多い。

電話など親切的な対応を

問 後期高齢者医療制度で、1年間の医療費と介護サービスの費用が自己負担限度額を超えたとき、申請すれば超過額が支給される。しかし、申請漏れによる「時効」が43件ある。町として親切的な対応をすべきでは。

町長 京都府後期高齢者医療広域連合から示された対象者通知をもとに、必要書類を添え勸奨通知をしている。

交通安全対策の確保を

問 府道篠山京丹波線の竹野小学校、若竹センター前のS字カーブは、通学時や車の出入りの際に大変危険である。府に対策を求めるべきでは。

町長 未改良区間の早期改良が大事である。



北尾 潤 議員

竹野小学校と竹野活性化委員会の 関わりに対しての評価は

教育長 双方向の取り組みにより相互に効果を上げている



地域と共に歩む竹野小学校

問 竹野小学校の学年別の人数は。

教育長 1年生6人、2年生3人、3年生4人、4年生3人、5年生6人、6年生6人の計28人である。

問 中央教育審議会の答申に「小規模校の活性化」が盛り込まれたが、これは統廃合しないという意味なのか。また、小規模校の一般的なメリット、デメリットは。

教育長 一定の教育の質を保障することを前提としたうえで、それぞれの地域が学校と一緒に進めるのであれば、小規模校として存続させる価値があると、中教審の答申は述べていると理解している。

また、小規模校のメリットは行き届いた指導や支援が可能であり、少人数のため、学びや活動に主体的に参加すること、学習量や運動量は多くなることが期待される。また、小規模校はより地域に密着した立地であることが多く、地域からの支援、協力を得やすい。

とした地域創生の一つのモデルになることを期待し、教育委員会としても引き続き支援をしていきたい。

ホストタウン構想の進捗は

問 第3次登録申請に向けて取り組んでいるが進捗状況は。

教育長 これまでの取り組みに加えて、ニュージーランド代表チーム強化部の責任者と事前キャンプ誘致について折衝を行ってきた。

11月10日に町長と大使館を訪れ、交流の一層の推進について大使と意見交換を行った。

こうした実績も含め、追加資料として提出し、第3次登録の結果発表を待っている。

地域による学校へのさまざまな支援により、児童が生き生きとした姿を見せてくれることが、地域にとって何よりの喜びと聞いている。竹野地域が学校を核



丹波マーケスの 経営診断から見えるものは



山田 均 議員

町長 経営状況が厳しい根拠は全くない

問 「丹波地域開発株」の収入のうち約3分の2は、サンダイコー(株)及びその関連会社からの収入である。会社の事業状況がサンダイコー(株)の事業に大きく左右される関係にある。地域の購買力低下により楽観できる状況ではなくなっている」と26年10月9日付けの事業診断書(公益財団法人京都産業21)で指摘されている。同社の経営状況は、厳しい状況では。

町長 経営状況が予断を許さないという根拠は全くない。

問 総務省の「指針」では、「公的支援の第三セクターにあつては、速やかに経営改善計画を策定するよう指導監督を行う」となっているが、26年9月議会に提出された同社の改善計画書でいいのか。

課長 それが経営改善計画であり、中期的な

経営計画も会社として立てて実施されている。

問 指針で指摘しているように、出資比率が50%以下でも筆頭株主、公的支援の状況など総合的に勘案して議会の報告義務に加えるべきでは。

町長 法律、条例に基づいて仕事をしている。

問 同社の役員派遣について、議会が要請や決議をしていないが。

町長 決議されていないが、(議会の)雰囲気です役員派遣を行った。

農業後継者は地域の後継者である

問 多様な担い手や新規就農者が農業で暮らしが成り立つように、価格補償や所得補償を実施して、安定した経営が維持されてこそ後継者が生まれ、地域が維持できる。5年、10年先を見据えた施策が必要であり、安心・安全な農産物の生産・販売を基本にすべきでは。

町長 安心・安全な農産物の生産・販売は当然のことと考えている。

課長 安心・安全な農産物の生産は必須のこと。規模にかかわらず多くの農家を取り組めるよう検討している。



常勤医師の確保が待たれる(和知診療所)

有害駆除は町の責任

問 有害駆除の報奨金は公金であり、町長が任命する駆除員に直接支払うべきでは。

課長 猟友会に委託しており、報奨金も猟友会に一括支払いを行っている。

和知診療所の充実を

問 和知診療所は医師が毎日入れ替わるので、せめて週に2日間は同じ医師に診察してほしいとの強い願いがある。こうした声に応える方法はないか。

町長 そうありたいと思っている。

閉会中の委員会報告

総務文教常任委員会

11月15日、竹野小学

校を訪問し、地域と連携した小規模校の教育実践について研修した。

全校集会及び授業参観の後、日下部校長から学校の取り組みについて説明を受けた。また、学校と連携した活

性化をめざしている竹野活性化委員会との懇談も行った。

●全校児童28人の竹野小学校

2、3年生は複式学級であるが、国語や算数などの授業は単式で行っている。また、音楽や体育、図工などは

合同授業にするなどの取り組みがされていた。児童数は少ないが、南丹・船井小学校駅伝競走大会や持久走では、児童の自信につながる結果が出ていると説明があった。

●地域と歩む学校づくりの推進

竹野地域では、学校と地域が子どもや地域の実態をふまえ、運動会や学習発表会、竹野サロン（食彩の工房で実施しているサロンへの出前発表）、ＩＴターンの希望者への学校説明・見学会など、連携して実施されている。

短時間であったが、子どもたちがこのような取り組みのなかで伸び伸びと学習していることや、地域も学校を支援しながら活性化を図っていることなどを研修した。

今後も引き続き、注目していきたい。

産業建設常任委員会

11月14日に開催し、所管事業の現地踏査を実施した。

●鳥インフルエンザ発生農場跡地

鳥インフルエンザ発生農場跡地の本年度解体・整備スケジュールについて説明を受けた。すでに解体工事の一部は終了し、整備された区間では映画のロケ

が実施されたと説明を受けた。全体事業として31年度の完成予定である。ロケ地誘致事業として、新たな魅力発信の拠点となることに期待する。



鳥インフルエンザ発生農場跡地(安井地内)



粉末炭接触槽築造工事現場(畑川浄水場)

●畑川浄水場高度浄水処理施設築造工事

28年度事業の粉末炭接触槽及び活性炭注入棟について説明を受けた。

水道施設の充実を図り、安心・安全な水道水を家庭に供給するための工事であり、年度内の完成を予定している。



11月14日に開催し、船井郡衛生管理組合により進められている「新火葬場建設事業」について協議を行った。

今日までの経過と進捗状況、さらに今後の方向性について確認することを目的として、本町と南丹市で構成される一部事務組合の前田副管理者、藤田事務局長を委員会に招き、説明を求めた。

●新火葬場建設事業の必要性

組合から今日までの取り組みについて、年次の経過とともに説明を受けた。当然本町に対して多額の拠出金が求められる事業であることから、計画策定から建設場所の選定経過や、工事着手から運用開始までの計画について、委員会として積極的に研究するため、特に建設候補地の決定根拠を確認する目的で、

候補地及び選定理由についての説明を求めた。新火葬場の建設事業については、町民が生活を続けるなかで欠かすことのない重要な施設整備として深く認識し、建設



新たな整備が模索される船井郡衛生管理組合火葬場

候補地及び選定理由についての説明を求めた。新火葬場の建設事業については、町民が生活を続けるなかで欠かすことのない重要な施設整備として深く認識し、建設

場所の選定に至る整合性を認知すると同時に、施設整備にかかわる費用については、継続して調査することの必要性を改めて確認した。

議会活性化特別委員会

9月8日に4会派の代表者会議を開催し、6月に開催した議会活性化研修会のまとめをもとに、6項目について各会派での意見集約を行うことを確認した。

11月18日に各会派から提出された6項目の「議会活性化」への意見について協議を行った結果、各会派で一致できる項目がないため、再度意見を出し合うこととした。

議会の役割や議員の責務などを明確にした議会基本条例は、府下でも亀岡市・南丹市をはじめ半数の議会で制定されている。

本委員会でも、議会

活性化に向け、さらに取り組みを進める。

交通網対策特別委員会

与謝野町が運行する町営バス「コミュニティバス ひまわり」の実状について調査することを目的として、11月16日に行政視察を実施した。

●「ひまわり」の概要
平成21年3月から運行を開始し、「私たち

のバス」として、住民による運営協議会が運行計画策定に携わり、ともに、運行主体は与謝野町、運転業務などは丹後海陸交通(株)が担っている。

小型バス1台で、奥滝線と加悦奥・石川線の2路線を1日4便隔日ごとに交互運転を行っている。運転業務委託料は、年間約1000万円である。



与謝野町役場加悦庁舎での意見交換会



コミュニティバス ひまわり

●視察のまとめ

- ①丹後海陸交通(株)が7路線を通常運行しており、これを町営バスが補完している。
- ②住民による運営協議会が運行計画策定に参画し、バスの隔日運行を決定した。
- ③町営バスの運行実体は極めて小規模である。

地域住民の悲願である 上升谷橋橋梁補修工事の 請負契約を可決

臨時会

11月7日、第3回臨時会が開催されました。契約案件1件が提出され、可決しました。

主な質疑・討論

契約

上升谷橋橋梁補修工事
 請負契約

(株)野口建設と841万3640円で契約を締結するもの。工期は29年3月31日まで。

〔全員賛成〕

問 工期が3月31日までとなっているが、工程表どおり完了するの

か。
 課長 厳しい状況であ



早期の完成が待たれる上升谷橋

るが、地元や関係機関と協議のうえ、工期内完了に向け努力したい。

問 本橋梁は通学路でもある。工事中の歩行者への対応策は。

課長 安全確保の観点からも、地元、学校と協議のうえで、歩行者優先で検討していく。

賛成討論 梅原 好範 議員

地域住民の長年にわたる切実な要望のもと、府指導に基づいた適正な事務が行われており、早期完成を願う賛成。

第26回

追跡調査

議会だより第47号(28年2月発行)掲載の質疑から

議会での議論がその後どうなっているのか、町民のみなさんの疑問に答える企画です。

あれから
 どないなっとるんや〜?

こうなった!

問 上豊田保育所下の
 スクールバス停留所の移
 転改修を。

町長 近隣の農業用
 倉庫敷地を整備する方向
 で、地元との協議が整った。
 来年度予算に計上したい。

本年度当
 初予算に計
 上され、す
 でに整備済
 みである。



整備された停留所



鹿と猪肉加工販売で起業 農業と地域を守りたい

上大久保区在住
藤田義晴さん(66歳)



今回は獣被害の主である鹿と猪を捕獲し、その肉で燻製や肉味噌などを製造・販売して起業、一石二鳥の事業展開をめざす藤田義晴さんを紹介します。

藤田さんは消費者に安全な商品を届けたいと、夢を膨らませておられます。着々と準備が進む仕事場である談酒館を訪ねました。



新築された仕事場(談酒館)の藤田さん

― 獣肉によって起業された理由は。

65歳で定年退職して家庭菜園を楽しもうと苗を植えたところ、鹿や猪に全滅させられ愕然としました。これは何とかしなければと、立ち上がる決心をしました。

― 以前のお仕事は。

27年6月に退職するまで東海道新幹線の業務に携わっておりました。

― 狩猟免許はいつ頃取得されましたか。

27年9月にわな免許を取得しました。先輩のみなさんにご指導いただきながら、研鑽と勉強の毎日です。

― 起業に向けての準備で、ポイントとなったことは何ですか。

一つは資金計画です。幸い、補助金の交付を受けることができました。二つ目は、保健所の許可取得です。食肉処理業と食肉製品製造業の許可証をいただきました。

― これからの展望を聞かせてください。

私が捕獲・解体・加工して作った鹿と猪の肉を安心して多くの方に食べていただき、農業と地域を守っていくことがすべての原点です。本町で捕獲した鹿と猪の肉を使う「鹿肉の燻製」、丹波の黒豆を使用した「肉味噌」は絶品と自負しております。

これからも本町の食材の魅力を全国に向け、発信し続けていきます。

(記者 鈴木)



商品パンフレットより

議会の傍聴に おこしく下さい

今回の議会日程は次のとおりです。

3月定例会

2月27日(月)
午前9時から

編集後記

春の陽気が待ちどおしいこの頃、みなさまにはお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

今年はインフルエンザが流行しているようです。みなさん、くれぐれも体調管理に努めてください。

12月定例会における議会だよりをお届けします。見やすく分かりやすい紙面づくりをモットーに編集しました。

私たちの任期も本年11月までとなりました。残された期間、精一杯町政の推進に努めてまいります。

(岩田)